

令和 6 年度事業報告について

I 概要

1. 令和 6 年度の事業活動

令和 6 年度の我が国経済は、主要自動車工場の操業停止や物価高に下押しされながらも、デフレ脱却に向けた政策効果もあったことで生産活動や個人消費が腰折れせず、総じて緩やかな拡大基調を維持した。また、株式市場においては賃上げと物価上昇の好循環による構造変化への期待感や円安等による企業の収益力向上への期待感が追い風となって、日経平均が史上最高値を更新するなど歴史的変化が見られた。

しかしながら、足下では米国政府の関税政策等によって外需に不透明感が増しているほか、物価上昇の長期化を受けて個人消費も力強さを欠いており、景気の先行きは予断を許さない状況となっている。本県経済においても概ね同様の動きとなっており、エネルギーコストの上昇や慢性的な人手不足も加わって、域内中小企業の経営環境は一段と厳しさを増している。

こうした中、本会では、元気な「とちぎ」の創生に向け、本県産業の振興と活力ある地域社会の形成を図るべく事業を展開した。委員会事業において新たに令和 6～7 年度の調査研究活動を開始したほか、社会貢献事業、人材育成事業にも力を注いだ。

今年度の決算は、経常収益 66,610 千円、経常費用 69,067 千円、経常収支△2,457 千円となった。これに、本会の理念に共感いただいた事業者からの寄贈品を固定資産受贈益（経常外収益）として計上したため、最終利益に当たる正味財産増減額は△230 千円となった。

なお、公益目的事業収入が 32,123 千円、同費用が 43,616 千円であったため、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（以下「法」）」に定める収支相償（公益目的事業に係る収入がその実施に要する適正な費用を償う額を超えないこと）及び公益目的事業比率 50%以上の要件に適合した。その一方で、遊休財産保有制限（遊休財産の額が 1 年間の公益目的事業の費用額を超えないと見込まれること）の要件については、満たすことができなかった。

2. 公益目的事業の運営

(1) 委員会事業

公益目的事業の柱である委員会事業においては、「生産性向上」「地方創生」「教育」という新たなテーマを選定し、7つの委員会を3つの合同委員会（「生産性向上合同委員会（産業政策・経営問題・国際化推進委員会）」、「地方創生合同委員会（地域振興・行財政改革委員会）」、「教育合同委員会（社会問題・社会貢献活動推進委員会）」）にブロック化し、調査研究活動を開始した。「未来経営研究会」、「栃木交流研究会」もそれぞれ新たなテーマで研究活動を開始した。

なお、令和 6 年 6 月 14 日には、令和 4～5 年度の委員会活動にて取りまとめた 5 委員会の提言書を栃木県知事及び教育長に手交した。

(2) 社会貢献事業

委員会事業と並ぶ公益目的事業として「ボランティアプロフェッサー事業」「講師派遣事業」「教員の社会体験研修受入事業」「表彰事業」等を実施した。

(3) 講演会事業

一般をも対象とした講演会を2回開催し、県民の経済問題等への関心を高めた。

3. 共益事業の運営

(1) 会員研修事業

「モーニングセミナー」「サマーセミナー」「新年例会」等を計画どおり開催するとともに、全国セミナーや他の経済同友会との交流会に参加した。

(2) 親睦会事業

会員間の交流を深めるべく、「ゴルフ大会」「プロスポーツ観戦」等を実施した。

4. 法人事業の運営

「総会」「理事会」「幹事会」等を適宜開催し、本会の運営に関して必要な事項について審議・決議した。

なお、入会促進運動の展開等によって当事業年度中に8名の新入会員を迎え、年度末の正会員数は270名となった。

Ⅱ 活動状況

1. 公益目的事業

(1) 委員会事業（公1）

(1-1) 生産性向上合同委員会

■ テーマ「生産性向上を実現する“とちぎ”の産業振興」

■ 構成

・産業政策委員会

(委員長) 荒井 大

(副委員長) 新井 孝則、石川 均、川口 達哉、喜谷 悠大、古口 勇二、関 雅樹、
谷奥 博史、野田 和郎、平野 一昭、増山 陽平、横山 稔

・経営問題委員会

(委員長) 平野 和正

(副委員長) 石川 英明、澤田 雄二、塩野 昌大、内藤 靖、平野 一昭

・国際化推進委員会

(委員長) 陳 賢徳

(副委員長) 石川 尚子、郡司 祐一、田村 篤史、林 明夫、吉田 元

■ 委員会活動

・委員長会議 3 回、正副委員長会議 4 回に加え、6 回の委員会を開催した。

第 1 回委員会 (R6/ 6/21、49 名参加) : 情報共有、講演聴講

- ・令和 6 年度活動計画案
- ・国際化推進委員会からの情報共有
- ・「生産性向上と今後の人材戦略」(日本生産性本部 松川昌義氏)
- ・「外国人受け入れ新時代の展望」(日本国際交流センター 毛受敏浩氏)

第 2 回委員会 (R6/ 9/20、38 名参加) : 講演聴講

- ・「企業価値向上に向けた人的資本経営の実践」(あしぎん総研 太田敏幸氏)
- ・「入管法改正と外国人材活用の進め方」(ISA パートナース 井上尉央氏)

第 3 回委員会 (R6/11/11、43 名参加) : 講演聴講

- ・「中小企業のガバナンス強化」(商工総研 青木剛氏)
- ・「人財定着の労務管理手法」(TMC 経営支援センター 岡部正治氏)

第 4 回委員会 (R6/12/10、21 名参加) : 茨城県視察

- ・目 的 : リスキリング
- ・視察先 : 茨城県庁、(株)あけぼの印刷社

第 5 回委員会 (R7/ 2/ 3~5、23 名参加) : 関西視察

- ・目 的 : 外国人材受入、人材育成、イノベーション創出等
- ・視察先 : 滋賀県庁、千房(株)、東海バネ工業(株)、サラヤ(株)、
大阪外国人材採用支援センター、エア・ウォーター(株)

第 6 回委員会 (R7/ 3/17、26 名参加) : 政策確認、グループ討議

- ・「栃木県チームイノベーション実践プログラム」

(1-2) 教育合同委員会

■ テーマ「“とちぎ”を担う人財の育成」

■ 構成

・社会問題委員会

(委員長) 吉原 正博

(副委員長) 新井 孝則、上野 勝弘、木内 久生、関口 快太郎、吉田 元

・社会貢献活動推進委員会

(委員長) 橋本 恵美

(副委員長) 石川 英明、小川 拓矢、古口 勇二、名村 史絵、羽石 和樹、早川 聖子

■ 委員会活動

- ・正副委員長会議4回に加え、4回の委員会を開催した。

第1回委員会 (R6/ 6/25、25名参加) : 情報共有、講演聴講

- ・令和6年度テーマ、活動計画、講師派遣事業デモ
- ・「栃木県教育振興基本計画」(県教育委員会 大高裕一氏)
- ・「教育振興基本計画」(文科省 沼澤綾子氏)

第2回委員会 (R6/10/10、23名参加) : 講演聴講

- ・「探究的な学習の在り方」(早大大学院 田中博之氏)

第3回委員会 (R6/11/20~21、13名参加) : 大阪・徳島視察

- ・目的: 探究学習、人材育成、文化創造等
- ・視察先: 追手門学院、パソナグループ、神山まると高専

第4回委員会 (R7/ 2/13、13名参加) : 茨城県視察

- ・目的: 教職員総合支援、探究学習プログラム
- ・視察先: 教職員支援機構、県立水海道第一高校

- ・また、埼玉県で開催された「5 経済同友会教育担当委員会交流会」へ参加した。

(1-3) 地方創生合同委員会

■ テーマ「人を惹きつける“とちぎ”の地域活性化戦略」

■ 構成

・地域振興委員会

(委員長) 郡司 成江

(副委員長) 井上 加容子、鹿野 英克、須藤 揮一郎、早川 聖子、増山 陽平、
村上 龍也、柳沢 威、渡邊 賢了

・行財政改革委員会

(委員長) 水沼 孝夫

(副委員長) 荒井 友章、荒井 大、児玉 博利、柳沢 威

■ 委員会活動

- ・正副委員長会議4回に加え、5回の委員会を開催した。

第1回委員会 (R6/ 6/27、29名参加) : 情報共有、講演聴講

- ・令和6年度テーマ、活動計画、調査研究の方向性

・「観光による地方創生を目的とした地域交流」（JTB 鹿野英克氏）
第2回委員会（R6/ 8/ 9、30名参加）：講演聴講
・「世界から見た“とちぎ”の姿」（県公認アンバサダー 田崎敏弘氏）
第3回委員会（R6/10/ 8、34名参加）：講演聴講
・「先進事例から学ぶ観光地域づくり」（宇都宮大学 鈴木富之氏）
第4回委員会（R6/12/ 4～6、16名参加）：九州視察
・目 的：観光戦略、交通戦略、地域ブランディング等 ・視察先：熊本市、九州 MaaS 協議会、(株)大宰府 Co-Creation、北九州市
第5回委員会（R7/ 3/10、27名参加）：講演聴講、グループ討議
・「SAGA アリーナを活用した地域活性化」（佐賀県スポーツ推進グループ） ・“とちぎ”の地域資源を活かした具体的施策

(1-4) 未来経営研究会

■ テーマ「サステナブル経営を考える」

■ 構成

（代表世話人）石川 尚子

（副代表 ）木内 久生、澤田 雄二、関 雅樹、田村 篤史、平野 和正

■ 研究会活動

- ・正副代表世話人会議2回、世話人会1回に加え、4回の例会を開催した。

第1回例会（R6/ 7/ 2、60名参加）：講演聴講
・「産業や文化財を生かしながら地域の経済循環を作るサステナブルツーリズム」（大田原ツーリズム 藤井大介氏）
第2回例会（R6/ 9/ 3～4、33名参加）：仙台視察
・目 的：企業経営、先端技術等 ・視察先：アイリスオーヤマ(株)、次世代放射光施設「NanoTerasu」、ニッカウキスキー宮城峡蒸溜所、石巻市震災遺構門脇小学校
第3回例会（R7/ 2/19、24名参加）：栃木県南エリア視察（栃交会合同）
・目 的：歴史文化、企業経営 ・視察先：岩船山採石場跡、ココファームワイナリー、長谷川農場、鑢阿寺
第4回委員会（R7/ 3/ 2～5、19名参加）：シンガポール視察
・目 的：シンガポールの政治経済、脱炭素、イノベーション創出等 ・視察先：ジェトロ SGP 事務所、アスエネ APAC 社、JSIP 社、One&Co 社

(1-5) 栃木交流研究会

■ テーマ「栃木の自然・歴史・文化・産業に触れる」

■ 構成

（会 長）佐藤 和幸

（副会長）石見 多恵、大坪 範彦、鹿野 英克、高橋 研、服部 晃、増山 陽平、柳沢 威、横山 稔

■ 研究会活動

- ・本会議、正副委員長会議に加え、3回の視察研修を実施した。

第1回視察（R6/ 9/24、16名参加）：益子町・宇都宮市視察

- ・目的：とちぎの産業
- ・視察先：県産業技術センター、益子焼窯元共販センター、村田発條(株)、宇都宮酒造(株)

第2回視察（R6/11/ 8～9、9名参加）：日光方面視察

- ・目的：とちぎの自然
- ・視察先：足尾銅山、龍王峡、川治ダム、若山農場

第3回視察（R7/ 2/19、24名参加）：栃木県南エリア視察（未来研合同）

- ・目的：歴史文化、企業経営
- ・視察先：岩船山採石場跡、ココファームワイナリー、長谷川農場、鏝阿寺

- ・10～11月には、ラジオ番組（レディオ・ベリー「Tuesday Talking Bar」（全9回））を通じて栃木県の魅力を発信した。

(1-6) その他

委員会事業を周知するため、報道代表者会（12社）との意見交換会を令和7年2月27日に開催した。

(2) 社会貢献事業（公2）

(2-1) 災害時応急対策業務実施協定事業

県との「災害時における応急対策業務の実施に関する協定」に基づき、災害発生時に会員企業の持つ物資等を提供する態勢を整えた。

(2-2) ボランティアプロフェッサー事業

大学コンソーシアムとちぎとの「講師派遣事業に関する協定」に基づき、宇都宮大学（大学院を含む）、作新学院大学及び白鷗大学の講座に延べ21名の講師を派遣し、約400名の学生に講義を実施した。

(2-3) 講師派遣事業

公立の小中学校・高等学校等に計34回、延べ83名の講師を派遣し、約6千名の生徒等に講義を実施した。

(2-4) 教員の社会体験研修受入事業

会員企業3団体（本会を含む）が教員3名を研修生として1年間受け入れた。

(2-5) 教員採用試験面接委員派遣事業

公立学校新規採用教員選考試験における面接委員として、令和6年8月22～24日の3日間に会員企業から延べ48名を派遣した。

(2-6) 表彰事業

選考委員会を開催し、地域社会の発展に貢献する経営者2名と2つの団体を表彰対象に決定した。

【優秀経営者賞】	東泉 清壽 氏 (株)トーセン 代表取締役)
【優秀起業家賞】	森西 淳 氏 (Aero Edge(株) 代表取締役社長兼CEO)
【社会貢献活動賞】	特定非営利活動法人CCV
【美しいまちづくり賞】	真岡まちづくりプロジェクト「まちをつくろう」

(2-7) とちぎ子どもの未来創造大学連携事業

令和6年度の「スタートアップ講座」を提供するとともに、会員企業の「体験講座」開設に協力した(本会会員企業から10社が講座を開設)。

(2-8) 新春経済講演会事業

「経済団体新春講演会実行委員会(会長:松下正直筆頭代表理事)」の構成団体として令和7年1月15日に開催し、約230名が聴講した。

【演題】	トランプ新政権の政策と日本の戦略
【講師】	渡部 恒雄 氏 (笹川平和財団上席フェロー)

(3) 講演会事業(公3)

広く一般県民を対象に、経済問題や社会問題の専門家等を招いて2回開催した。

<u>第1回講演会(R6/6/17、於ホテル東日本宇都宮)</u>	
【演題】	内外経済・金融動向とマイナス金利政策解除後の日銀金融政策
【講師】	木内 登英 氏 (野村総研エグゼクティブエコノミスト)
【参加】	114名
<u>第2回講演会(R7/2/17、於ベルヴィ宇都宮)</u>	
【演題】	日本政治の舞台裏
【講師】	田崎 史郎 氏 (政治ジャーナリスト)
【参加】	101名

2. 共益事業

(1) 会員研修事業（他1）

(1-1) モーニングセミナー

1月と8月を除く月に開催（計10回）し、延べ711名が参加した。

開催日	内容	参加者
R6/ 4/10	「新しい時代における教育の方向性」 (栃木県教育長 阿久澤 真理 氏)	69 名
R6/ 5/ 8	「関東自動車のカーボンニュートラルに向けた取組み」 (関東自動車(株) 代表取締役社長 吉田 元 氏)	80 名
R6/ 6/12	「脳と脊髄、心臓を守ろう」 (宇都宮脳脊髄センター・シンフォニー病院 代表 金 彪 氏)	72 名
R6/ 7/17	「債務超過からの出発」 (株)大一不動産 代表取締役 小坂橋 博幸 氏)	76 名
R6/ 9/11	「アメリカ大統領選挙と世界、そして日本」 (上智大学総合グローバル学部 教授 前嶋 和弘 氏)	82 名
R6/10/ 2	「子どもと家族の当たり前の暮らしとは」 (認定NPO法人うりずん 理事長 高橋 昭彦 氏)	63 名
R6/11/13	「外国人材受入れの取組み」 (株)真岡製作所 代表取締役社長 佐藤 克彦 氏)	68 名
R6/12/11	「就業調整と『103万円の壁』・税務行政のDX」 (税理士法人浜村会計 理事長 浜村 智安 氏)	75 名
R7/ 2/12	「政府と地方公共団体のDX推進と当社の取組」 (株)TKC 代表取締役専務執行役員 飛鷹 聡 氏)	61 名
R7/ 3/12	「経済・金融見通し」 (株)第一生命経済研究所 首席エコノミスト 熊野 英生 氏)	65 名

(1-2) サマーセミナー

令和6年7月4日に宇都宮東武ホテルグランデにて開催し、76名が出席した。

【第1部】講演会 「地域とともに 宇都宮大学の取組み ～共創と複眼～」 (宇都宮大学 学長 池田 幸 氏) 【第2部】令和4-5年度委員会活動報告会 ・デジタル合同委員会 (産業政策委員会 荒井委員長、行財政改革委員会 水沼委員長) ・グリーン合同委員会 (経営問題委員会 古口委員長、社会問題委員会 新井委員長) ・地域振興委員会 (宮本委員長) ・国際化推進委員会 (石川委員長) ・社会貢献活動推進委員会 (名村委員長)

(1-3) 新年例会

令和 7 年 1 月 10 日、新年の定例記者会見の後、ホテル東日本宇都宮にて開催した。総勢約 110 名の会員が参加し、松下筆頭代表理事の年頭所感に続き、福田栃木県知事が「未来への投資～共に創る とちぎの明日～」と題して講演を行った。

(1-4) 全国経済同友会セミナー

令和 6 年 4 月 18～19 日の 2 日間にわたって福井県福井市にて開催され、本会からは 19 名が参加（全国 44 の経済同友会から約 1,100 名）した。

■ 総合テーマ「どうする！人口減少 N I P P O N」

■ パネル討論

- ・第 1 セッション「人口減少社会の将来展望と課題」
- ・第 2 セッション「人口減少時代の企業経営を考える」
- ・第 3 セッション「今、あらためて地域創生を考える」

(1-5) 4 経済同友会交流会（埼玉・栃木・新潟・群馬）

令和 6 年 10 月 9 日、群馬経済同友会が幹事となり開催され、本会からは 15 名が参加（4 団体計 71 名）した。ハッ場ダムの視察に続き、高崎市に場所を移して各同友会の活動報告会が行われた。

(2) 親睦会事業（他 2）

(2-1) ゴルフ大会

第 1 回ゴルフコンペを令和 6 年 5 月 18 日に矢板カントリークラブにて開催（24 名参加）、第 2 回コンペを令和 6 年 11 月 6 日に栃木ヶ丘ゴルフ倶楽部にて開催（20 名参加）した。

(2-2) プロスポーツ観戦

第 1 弾として令和 6 年 6 月 8 日にカンセキスタジアムとちぎにて栃木 S C のホームゲームを観戦（20 名参加）、第 2 弾として令和 7 年 1 月 29 日ブルックスアリーナ宇都宮にて宇都宮ブルックスのホームゲームを観戦（33 名参加）した。

(2-3) 親睦会

「バレンタインフェス」と称したイベントを、令和 7 年 2 月 10 日に宇都宮東武ホテルグランデにて開催し、総勢 67 名が参加した。親睦会ではこどもミュージカル「どりーみんぐ」によるパフォーマンスや、お笑いコンビ「U 字工事」によるステージのほか、おたのしみ抽選会等を実施した。

3. 法人事業

(1) 総会

定款第 13 条に定める定時総会を令和 6 年 6 月 17 日にホテル東日本宇都宮にて開催（出席者 195 名（含書面））した。総会では松下筆頭代表理事が議長に選任され、全ての議案が原案どおり可決された。

- 【議案】 1. 令和 5 年度事業報告・決算
2. 役員の選任
- 【報告】 1. 令和 6 年度事業計画・収支予算
2. 幹事の選任

(2) 理事会

定款第 26 条に定める理事会を 4 回開催した。

第 1 回理事会（R6/ 5/28、11 名出席）

- 【議案】 1. 令和 5 年度事業報告
2. 令和 5 年度決算
3. 令和 6 年度総会の開催
4. 会員の新規入会
5. 幹事の選任
- 【報告】 1. 令和 5 年度下期理事の業務執行状況
2. 会員の異動

第 2 回理事会（R6/10/16、書面開催）

- 【議案】 1. 幹事の選任
2. 会員の新規入会
3. 準会員の新規入会
- 【報告】 1. 会員の異動

第 3 回理事会（R6/12/18、13 名出席）

- 【議案】 1. 令和 7 年度予算編成の考え方
2. 会員の新規入会
- 【報告】 1. 令和 6 年度上期理事の業務執行状況
2. 会員の異動

第 4 回理事会（R7/ 3/12、10 名出席）

- 【議案】 1. 令和 7 年度事業計画案
2. 令和 7 年度収支予算案
3. 会員の新規入会
- 【報告】 1. 参与の採用
2. 会員の異動

(3) 幹事会

幹事会規程に定める幹事会を4回開催した。

第1回幹事会 (R6/ 5/28、33名出席)

- 【議案】 1. 令和5年度事業報告
2. 令和5年度決算
3. 令和4～5年度各研究会の活動報告書

第2回幹事会 (R6/12/18、27名出席)

- 【議案】 1. 令和7年度予算編成の考え方
2. 会員増強（討議）
【報告】 1. 3合同委員会の活動状況
2. 令和7年度総会等開催日程

第3回幹事会 (R7/ 3/12、24名出席)

- 【議案】 1. 令和7年度事業計画案
2. 令和7年度収支予算案
【報告】 1. 表彰事業の選考結果
2. 新規会員増強

第4回幹事会 (R7/ 3/25、書面開催)

- 【議案】 1. 産業政策委員会委員長の交代

(4) 役員選考委員会

役員選任規程に定める委員会を2回開催した。

第1回委員会 (R6/ 4/25、11名出席)

- 【議案】 1. 役員候補者の選考

第2回委員会 (R7/ 3/12、10名出席)

- 【議案】 1. 役員候補者の選考

(5) 企画運営委員会

企画運営委員会設置運営要領に定める委員会を6回開催した。

第1回委員会 (R6/ 5/ 7、17名出席)

- 【議題】 1. 令和6年度企画運営委員会活動計画
2. 令和6年度サマーセミナーの開催
3. 令和6年度広報活動案

- 【報告】 1. 令和6年度上半期事業等

第2回委員会 (R6/ 7/17、書面開催)

- 【議題】 1. 令和6年度親睦会事業の開催

- 【報告】 1. 4経済同友会の開催

第3回委員会（R6/ 9/ 5、12名出席）

- 【議題】 1. プロスポーツ観戦
2. 報道代表者との意見交換会
3. 今後の委員会活動
- 【報告】 1. とちぎテレビを活用した広報活動
2. 令和6年度親睦会事業
3. 5経済同友会教育担当委員会交流会の開催

第4回委員会（R6/12/12、14名出席）

- 【議題】 1. 令和7年度予算編成の考え方
2. 今後の委員会活動
- 【報告】 1. 令和6年度の委員会活動状況
2. 令和7年新年例会の開催
3. 令和6年度親睦会事業の開催
4. 令和6年度第2回講演会の開催

第5回委員会（R7/ 2/ 6、15名出席）

- 【議題】 1. 今後の委員会活動
2. 令和7年度サマーセミナーの開催

第6回委員会（R7/ 3/ 6、13名出席）

- 【報告】 1. 令和7年度事業計画案
2. 令和7年度収支予算案
3. 令和7年度プロスポーツ観戦
4. 令和7年度企画運営委員会活動計画

(6) 広報活動

季刊誌「同友」を年4回発行するとともに、活動の状況等についてホームページに随時掲載した。また、県政記者クラブへの情報提供や報道関係者との意見交換等に取り組んだ。

【参考】事業活動別参加人数（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

会合名		会合数	参加者
■委員会事業			
1	生産性向上合同委員会	6	200
2	教育合同委員会（含5経済同友会教育担当交流会）	5	87
3	地方創生合同委員会	5	136
4	未来経営研究会	4	136
5	栃木交流研究会	3	49
6	栃木県報道代表者会との意見交換会	1	18
■社会貢献事業			
7	ボランティアプロフェッサー事業	3	21
8	講師派遣事業	34	83
9	教員の社会体験研修受入事業	1	3
10	教員採用試験面接委員派遣事業	1	48
11	表彰事業（選考委員会）	1	11
12	新春経済講演会	1	230
■講演会事業			
13	講演会	2	215
■会員研修事業			
14	モーニングセミナー	10	711
15	サマーセミナー	1	76
16	新年例会	1	110
17	全国経済同友会セミナー	1	19
18	4経済同友会交流会	1	15
■親睦会事業			
19	ゴルフ大会	2	44
20	プロスポーツ観戦	2	53
21	親睦会（バレンタインフェス）	1	67
■法人事業			
22	総会	1	195
23	理事会	4	53
24	幹事会	4	130
25	役員選考委員会	2	21
26	企画運営委員会	6	88
計		103	2,819

Ⅲ 会員の推移

過去 5 年間の正会員の推移

	令和 2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
入 会	4	8	6	9	8
退 会	8	10	10	9	5
年度末	273	271	267	267	270

事業報告附属明細書

令和6年度事業報告において、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはありません。